

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-285040

(43)Date of publication of application : 13.10.2000

(51)Int.Cl.

G06F 13/00

(21)Application number : 11-088740

(71)Applicant : **MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD**

(22)Date of filing : 30.03.1999

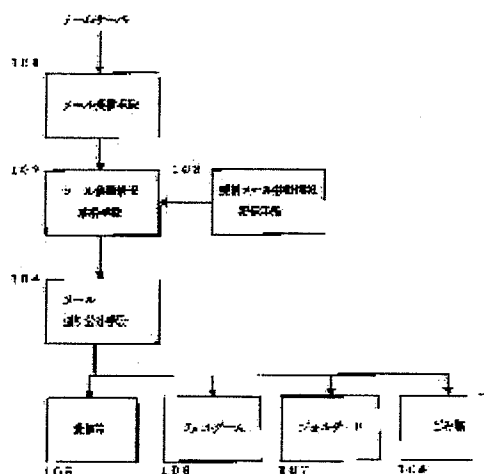
(72)Inventor : ITO NAOYUKI

(54) ELECTRONIC MAIL MANAGEMENT DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an electronic mail management device and method capable of easily referring transmitted/received mails by automatically arranging the transmitted/received mails.

SOLUTION: When a user moves a received mail, a received mail movement information storing means 103 stores a transmitting source address and a moving destination holder and a mail movement information acquiring means 102 acquires the moving destination holder corresponding to the transmitting source address of the received mail from the means 103 and outputs the acquired holder to a mail distribution means 104 as moving destination holder information together with the received mail. The means 104 stores the received mail in a holder specified by the moving destination holder information.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2000-285040
(P2000-285040A)

(43)公開日 平成12年10月13日(2000.10.13)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 13/00	3 5 1	G 0 6 F 13/00	3 5 1 G 5 B 0 8 9

審査請求 未請求 請求項の数8 O L (全 11 頁)

(21)出願番号 特願平11-88740

(22)出願日 平成11年3月30日(1999.3.30)

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 伊藤 尚之

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74)代理人 100097445

弁理士 岩橋 文雄 (外2名)

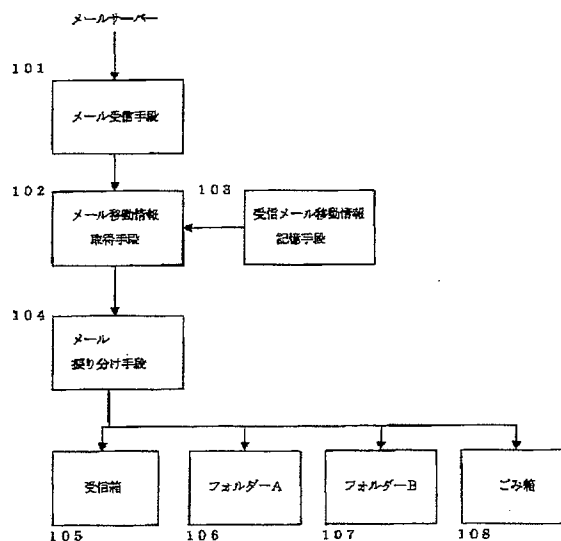
Fターム(参考) 5B089 GA21 GB02 JA31 KA03 KA04
KC27 KC34 KC46 KC59 LA14
LA15

(54)【発明の名称】 電子メール管理装置

(57)【要約】

【課題】 送受信メールが自動的に整理されて送受信メールの参照が容易になる電子メール管理装置または方法を提供することを目的とする。

【解決手段】 ユーザーが受信メールを移動した際に送信元アドレスと移動先フォルダーを記憶する受信メール移動情報記憶手段103を備え、メール移動情報取得手段102が受信メールの送信元アドレスに対応する移動先フォルダーを受信メール移動情報記憶手段103から取得し、移動先フォルダー情報として受信メールとともにメール振り分け手段104に出力する。メール振り分け手段104は移動先フォルダー情報で指定されたフォルダーに受信メールを保存する。



をメール移動情報として記憶するメール移動情報記憶手順と、前記メール受信手順／前記メール送信手順で受信／送信した電子メールを前記メール移動情報取得手順で取得したメール移動情報の移動先フォルダーに移動するメール振り分け手順から成る電子メール管理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、送受信した電子メールを容易に分類管理する電子メール管理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、通信回線を介してメールサーバーに接続し、電子メールの送受信を行なう電子メール管理装置が普及してきている。

【0003】図7は、従来の電子メール管理装置の構成図である。

【0004】図7においては、101はメールサーバーから電子メールを受信するメール受信手段、401はメールサーバーに電子メールを送信するメール送信手段、105は電子メール管理装置で予め用意されている受信メールを保存するフォルダーとしての受信箱、108はユーザーが削除した送受信メールを保存するフォルダーとしてのごみ箱、402はメール送信手段401が送信する送信メールが保存されるフォルダーとしての送信箱、404はメール送信手段401によって送信された送信済みメールが保存されるフォルダーとしての送信済み、106、107はユーザーが任意に作成したフォルダーA、フォルダーBである。

【0005】以下に、上記従来の電子メール管理装置の動作について説明する。

【0006】まず、電子メールの受信動作について説明する。

【0007】メール受信手段101がメールサーバーに対して受信メールが存在するかどうかを確認して存在する場合には受信メールを受け取る。次に、メール受信手段101は受信メールを受信箱105に保存する。

【0008】ユーザーは受信箱105に保存された受信メールを、例えば、作成したフォルダーA106、フォルダーB107等に手動で移動することで受信メールの整理を行うことができる。また、ユーザーが不要な受信メールを削除すると削除された受信メールはごみ箱108に移動される。

【0009】次に、電子メールの送信動作について説明する。

【0010】ユーザーが送信メールを作成して送信処理を行うと、送信メールが送信箱402に保存される。メール送信手段401は送信箱402に保存された送信メールをメールサーバーに対して送信し、送信完了後に送信済み404に移動する。

【0011】ユーザーは送信済み404に移動された送

信済みメールを、例えば、作成したフォルダーA106、フォルダーB107等に手動で移動することで送信済みメールの整理を行うことができる。また、ユーザーが不要な送信済みメールを削除すると削除された送信済みメールはごみ箱108に移動される。

【0012】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来の電子メール管理装置では、受信メールは受信箱、送信済みメールは送信済みと呼ばれる固定のフォルダーに保存されるため、送受信する電子メールの数が増えるにつれて誰から／誰への電子メールなのかの識別が困難になり、送受信メールを参照する際の使い勝手が悪いといった問題があった。

【0013】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明の電子メール管理装置は、電子メールの送信元アドレスとその送信元アドレスから直近に受信した電子メールの移動先フォルダーとを受信メール移動情報として、また、電子メールの送信先アドレスとその送信先アドレスに直近に送信した電子メールの移動先フォルダーとを送信メール移動情報として記憶する手段と、受信／送信メールをその送信元／送信先アドレスと受信／送信メール移動情報から決定される移動先フォルダーに振り分ける手段を有することで、送受信メールが自動的に整理されて送受信メールの参照が容易になる。

【0014】

【発明の実施の形態】請求項1記載の発明は、電子メールを受信するメール受信手段と、電子メールの送信元アドレスと前記送信元アドレスから前記メール受信手段が直近に受信した電子メールの移動先フォルダーとを受信メール移動情報として記憶する受信メール移動情報記憶手段と、電子メールの送信元アドレスから前記受信メール移動情報記憶手段に記憶された受信メール移動情報を取得するメール移動情報取得手段と、前記メール受信手段が受信した電子メールを前記メール移動情報取得手段によって取得した受信メール移動情報の移動先フォルダーに移動するメール振り分け手段を有する電子メール管理装置であって、ユーザーによる受信メールの任意フォルダーへの移動履歴に基づいて受信メールが送信元別に自動的に整理され、受信メール数が増えた場合でも受信メールの参照が容易になる。

【0015】請求項2記載の発明は、電子メールを送信するメール送信手段と、電子メールの送信先アドレスと前記送信先アドレスに前記メール送信手段が直近に送信した電子メールの移動先フォルダーとを送信メール移動情報として記憶する送信メール移動情報記憶手段と、電子メールの送信先アドレスから前記送信メール移動情報記憶手段に記憶された送信メール移動情報を取得するメール移動情報取得手段と、前記メール送信手段が送信した電子メールを前記メール移動情報取得手段によって取

得した送信メール移動情報の移動先フォルダーに移動するメール振り分け手段を有する電子メール管理装置であって、ユーザーによる送信メールの任意フォルダーへの移動履歴に基づいて送信メールが送信先別に自動的に整理され、送信メール数が増えた場合でも送信メールの参照が容易になる。

【0016】請求項3記載の発明は、電子メールを受信するメール受信手段と、電子メールの送信元アドレスと前記送信元アドレスから前記メール受信手段が直近に受信した電子メールの移動先フォルダーとを受信メール移動情報として記憶する受信メール移動情報記憶手段と、電子メールを送信するメール送信手段と、電子メールの送信先アドレスと前記送信先アドレスに前記メール送信手段が直近に送信した電子メールの移動先フォルダーとを送信メール移動情報として記憶する送信メール移動情報記憶手段と、電子メールの送信元アドレスから前記受信メール移動情報記憶手段に記憶された受信メール移動情報を取得し電子メールの送信先アドレスから前記送信メール移動情報記憶手段に記憶された送信メール移動情報を取得するメール移動情報取得手段と、前記メール受信手段が受信した電子メールを前記メール移動情報取得手段によって取得した受信メール移動情報の移動先フォルダーに移動し前記メール送信手段が送信した電子メールを前記メール移動情報取得手段によって取得した送信メール移動情報の移動先フォルダーに移動するメール振り分け手段を有する電子メール管理装置であって、ユーザーによる受信/送信メールの任意フォルダーへの移動履歴に基づいて受信/送信メールが送信元/送信先別に自動的に整理され、受信/送信メール数が増えた場合でも受信/送信メールの参照が容易になる。

【0017】請求項4記載の発明は、電子メールを受信するメール受信手段と、電子メールを送信するメール送信手段と、電子メールの送信元/送信先アドレスと前記送信元アドレスから/送信先アドレスに前記メール受信手段/メール送信手段が直近に受信/送信した電子メールの移動先フォルダーとをメール移動情報として記憶するメール移動情報記憶手段と、前記メール受信手段/メール送信手段が受信/送信した電子メールを前記メール移動情報取得手段によって取得したメール移動情報の移動先フォルダーに移動するメール振り分け手段を有する電子メール管理装置であって、ユーザーによる同じ相手先に対する受信/送信メールのいずれか一方の任意フォルダーへの移動履歴に基づいて同じ相手先に対する受信/送信メールが相手先別に自動的に整理され、受信/送信メール数が増えた場合でも受信/送信メールの参照が容易になる。

【0018】以下に、本発明の実施の形態を図1から図6を用いて説明する。

【0019】(実施の形態1) 図1は、本実施の形態に係る電子メール管理装置の構成図である。

【0020】図1において、101はメールサーバーから電子メールを受信するメール受信手段、105は電子メール管理装置があらかじめ用意している受信メールを保存するフォルダーとしての受信箱、108はユーザーが削除した電子メールを保存するごみ箱、106および107はユーザーが任意に作成したフォルダーAおよびフォルダーB、103はユーザーが受信メールを受信箱105から他のフォルダーに移動した際に移動した受信メールの送信元アドレスと移動先フォルダーを受信メール移動情報として記憶する受信メール移動情報記憶手段、102は受信メールの送信元アドレスを取得して受信メール移動情報記憶手段103から受信メール移動情報を取得するメール移動情報取得手段、104は受信メールをメール移動情報取得手段102から受け取った受信メール移動情報の移動先フォルダーに移動するメール振り分け手段である。

【0021】以下に、本実施の形態に係る電子メール管理装置の動作について説明する。

【0022】まず、メール受信手段101がメールサーバーに対して受信メールの有無を問合せ、有る場合には受信メールを受信してメール移動情報取得手段102に出力する。

【0023】次に、メール移動情報取得手段102は受け取った受信メールのヘッダーから送信元アドレスを取得して受信メール移動情報記憶手段103に記憶された受信メール移動情報内に対応する送信元アドレスが存在するか否かチェックし、存在する場合には受信メール移動情報の移動先フォルダー（フォルダーA106、フォルダーB107、ごみ箱108等）を、存在しない場合には受信箱105を移動先フォルダー情報として受信メールとともにメール振り分け手段104に出力し、メール振り分け手段104は受信メールを移動先フォルダー情報で指定されたフォルダーに保存する。

【0024】図2は、受信メール移動情報記憶手段103に記憶される受信メール移動情報を示す図である。

【0025】図2に示すように、例えば、受信箱105に保存されたAさんからの受信メールをユーザーがフォルダーA106に移動した場合には、送信元メールアドレスとしてのAさんと移動先フォルダーとしてのフォルダーA106が対になって記憶される。

【0026】さらに、Bさんからの受信メールをフォルダーB107に、Cさんからの受信メールをフォルダーA106に、Dさんからの受信メールは受信箱105のまま移動せず、Eさんからの受信メールを削除した場合には、受信メール移動情報記憶手段103に記憶される受信メール移動情報は図2のようになる。

【0027】図3は、メール移動情報取得手段102とメール振り分け手段104の動作を示すフローチャートである。

【0028】図3に示すように、301でメール移動情

報取得手段102が受信メールのヘッダーから送信元アドレスを取得し、302で取得した送信元アドレスに対応する受信メール移動情報が受信メール移動情報記憶手段103に存在するか否かをチェックし、存在する場合は303で移動先フォルダーを取得して受信メールと共にメール振り分け手段104に出力し、304でメール振り分け手段104はその移動先フォルダーに受信メールを移動する。存在しなかった場合にはメール移動情報取得手段102は移動先フォルダーとして受信箱105を受信メールと共にメール振り分け手段104に出力し、305でメール振り分け手段104は受信メールを受信箱105に移動する。

【0029】本実施の形態によれば、ユーザーによる受信メールの任意フォルダーへの移動履歴に基づいて受信メールが送信元別に自動的に整理され、受信メール数が増えた場合でも受信メールの参照が容易になる。

【0030】(実施の形態2)図4は、本実施の形態に係る電子メール管理装置の構成図である。

【0031】図4に示すように、本実施の形態に係る電子メール管理装置はメール受信に関わる部分は実施の形態1と同様の構成であり、さらにメール送信に関わる部分として、401のメールサーバーに電子メールを送信するメール送信手段と、402の送信メールを送信手段401に出力する送信箱と、404の送信済みメールを保存する電子メール管理装置であらかじめ用意された送信済みと、403のユーザーが送信済みメールを送信済み404から他のフォルダーに移動した際に移動した送信メールの送信先アドレスと移動先フォルダーを送信メール移動情報として記憶する送信メール移動情報記憶手段を構成要素として含んでいる。

【0032】以下に、本実施の形態に係る電子メール管理装置のメール送信に関する動作について説明する。

【0033】なお、メール受信に関する動作は実施の形態1と同様なので省略する。

【0034】まず、メール送信手段401は送信箱402に送信メールが有るか否かをチェックし、有る場合には送信メールをメールサーバーに送信して終了すれば送信メールをメール移動情報取得手段102に出力する。

【0035】次に、メール移動情報取得手段102は受け取った送信メールのヘッダーから送信先アドレスを取得して送信メール移動情報記憶手段103に記憶された送信メール移動情報内に対応する送信先アドレスが存在するか否かをチェックし、存在する場合には送信メール移動情報の移動先フォルダー(フォルダーA106、フォルダーB107、ごみ箱108等)を、存在しない場合には送信済み404を移動先フォルダー情報として送信メールとともにメール振り分け手段104に出力し、メール振り分け手段104は送信メールを移動先フォルダー情報で指定されたフォルダーに保存する。

【0036】図5は、メール移動情報取得手段102と

メール振り分け手段104の動作を示すフローチャートである。

【0037】図5に示すように、501でメール移動情報取得手段102が送信メールのヘッダーから送信先アドレスを取得し、502で取得した送信先アドレスに対応する送信メール移動情報が送信メール移動情報記憶手段403に存在するか否かをチェックし、存在する場合は503で移動先フォルダーを取得して送信メールと共にメール振り分け手段104に出力し、504でメール振り分け手段104はその移動先フォルダーに送信メールを移動する。存在しなかった場合にはメール移動情報取得手段102は移動先フォルダーとして送信済み404を送信メールと共にメール振り分け手段104に出力し、505でメール振り分け手段104は送信メールを送信済み404に移動する。

【0038】本実施の形態によれば、ユーザーによる受信/送信メールの任意フォルダーへの移動履歴に基づいて受信/送信メールが送信元/送信先別に自動的に整理され、受信/送信メール数が増えた場合でも受信/送信メールの参照も容易になる。

【0039】(実施の形態3)図6は、本実施の形態に係る電子メール管理装置の構成図である。

【0040】図6に示すように、本実施の形態に係る電子メール管理装置は、電子メールの任意フォルダーへの移動履歴を受信メールと送信メールで区別せず1つのメール移動情報として扱うことで、実施の形態2に係る電子メール管理装置における受信メール移動情報記憶手段103と送信メール移動情報記憶手段403を1つのメール移動情報記憶手段601に置き換えたものである。

【0041】本実施の形態によれば、ユーザーによる同じ相手先に対する受信/送信メールのいずれか一方の任意フォルダーへの移動履歴に基づいて同じ相手先に対する受信/送信メールが相手先別に自動的に整理されるため、同じ相手先に対する受信メールと送信メールが一元管理でき、受信/送信メール数が増えた場合でも受信/送信メールの参照が容易になる。

【0042】

【発明の効果】以上詳述したように、本発明によれば、ユーザーによる受信/送信メールの任意フォルダーへの移動履歴に基づいて受信/送信メールが送信元/送信先別に自動的に整理され、受信/送信メール数が増えた場合でも容易に受信/送信メールの参照ができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態1に係る電子メール管理装置の構成図

【図2】本発明の実施の形態1に係る電子メール管理装置の受信メール移動情報を示す図

【図3】本発明の実施の形態1に係る電子メール管理装置のメール移動情報取得手段とメール振り分け手段の動作を示すフローチャート

【図4】本発明の実施の形態2に係る電子メール管理装置の構成図

【図5】本発明の実施の形態2に係る電子メール管理装置のメール移動情報取得手段とメール振り分け手段の動作を示すフローチャート

【図6】本発明の実施の形態3に係る電子メール管理装置の構成図

【図7】従来の電子メール管理装置の構成図

【符号の説明】

101 メール受信手段

102 メール移動情報取得手段

* 103 受信メール移動情報記憶手段

104 メール振り分け手段

105 受信箱

106 フォルダーA

107 フォルダーB

108 ごみ箱

401 メール送信手段

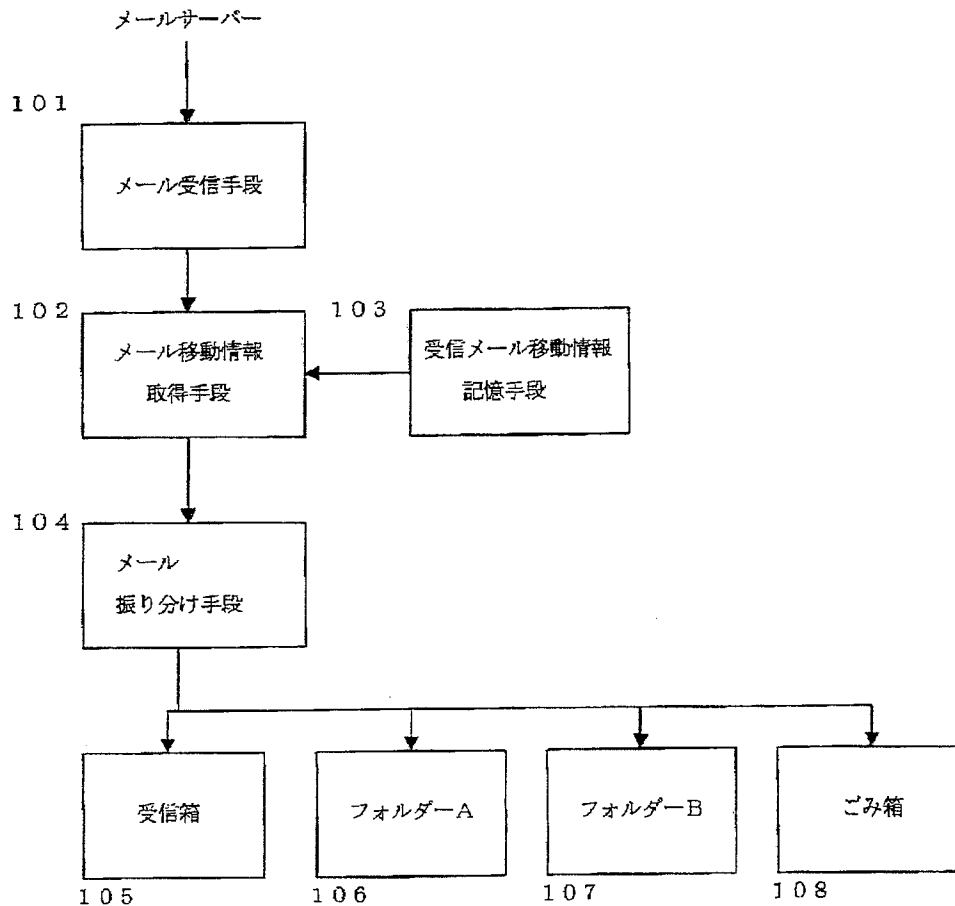
402 送信箱

403 送信メール移動情報記憶手段

10 404 送信済み

* 601 メール移動情報記憶手段

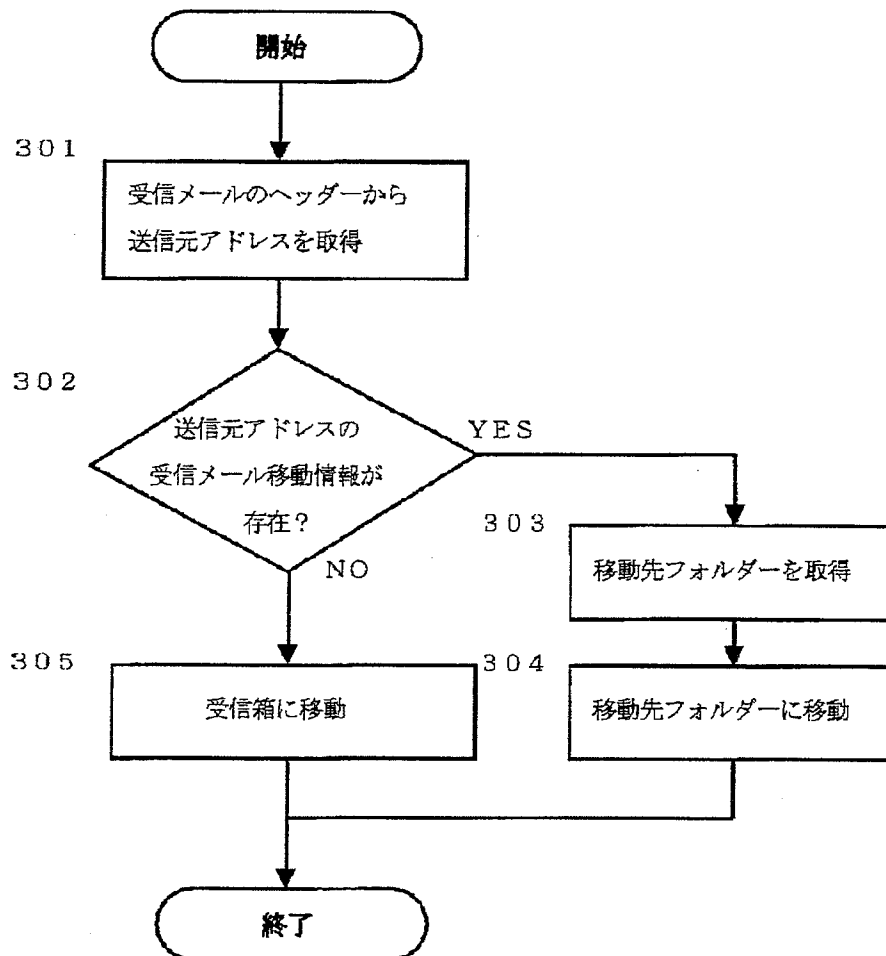
【図1】



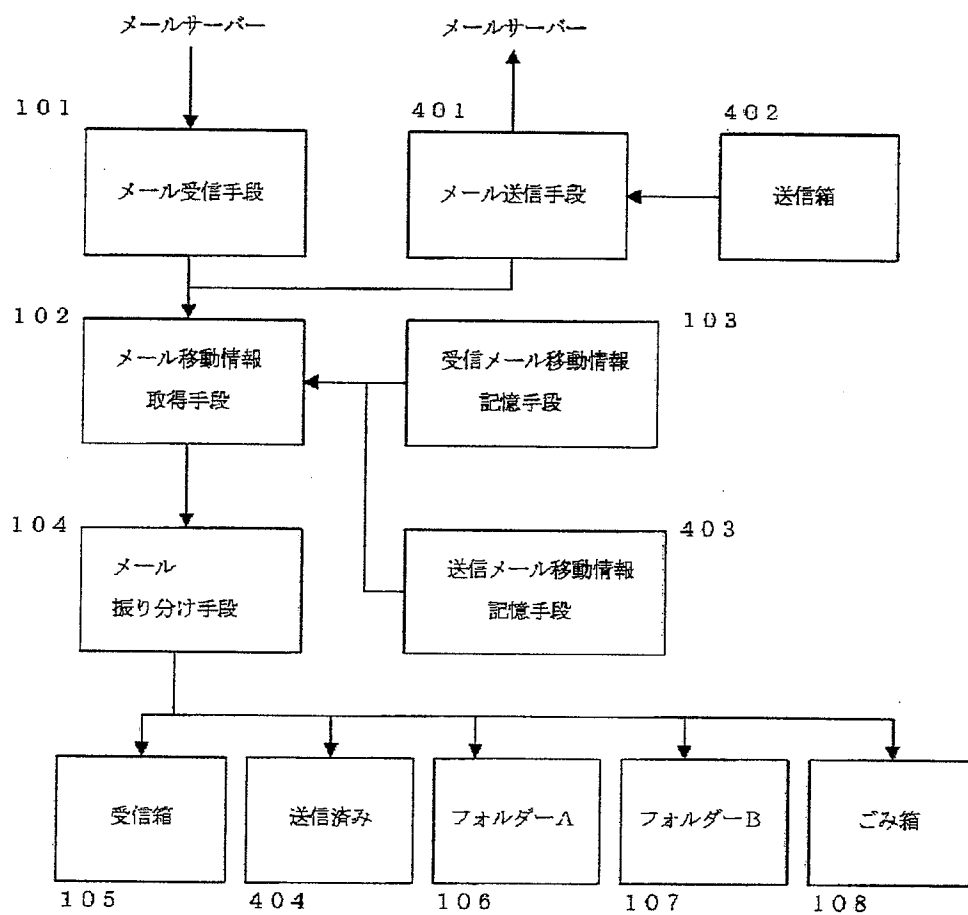
【図2】

送信元アドレス	移動先フォルダー
Aさん	フォルダーA
Bさん	フォルダーB
Cさん	フォルダーA
Eさん	ごみ箱

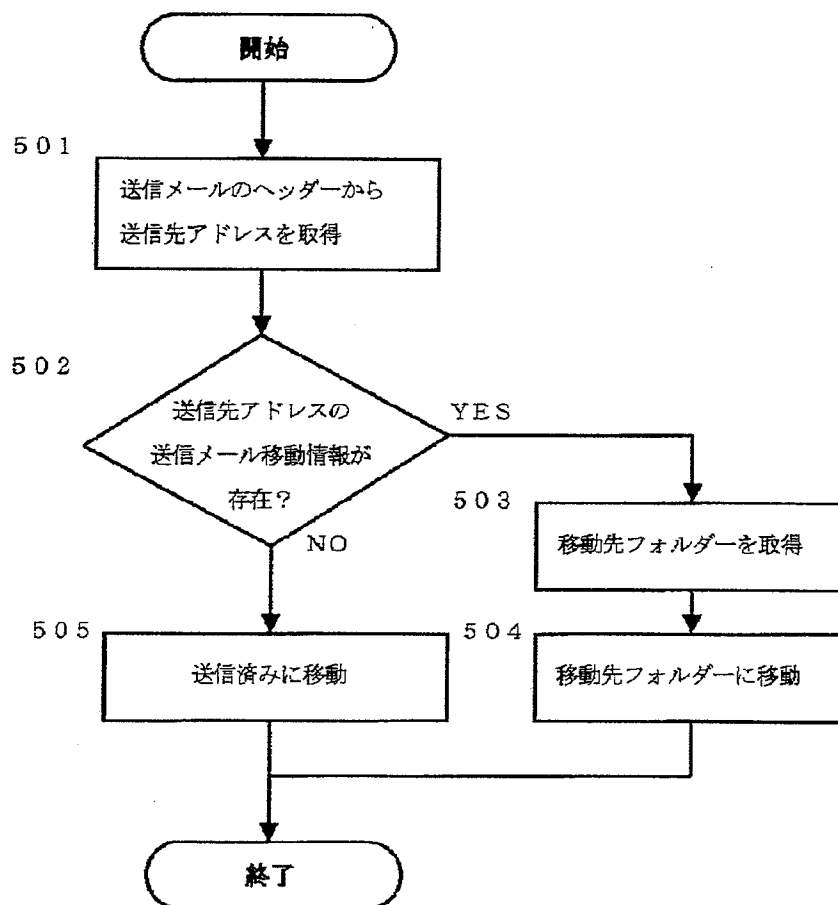
【図3】



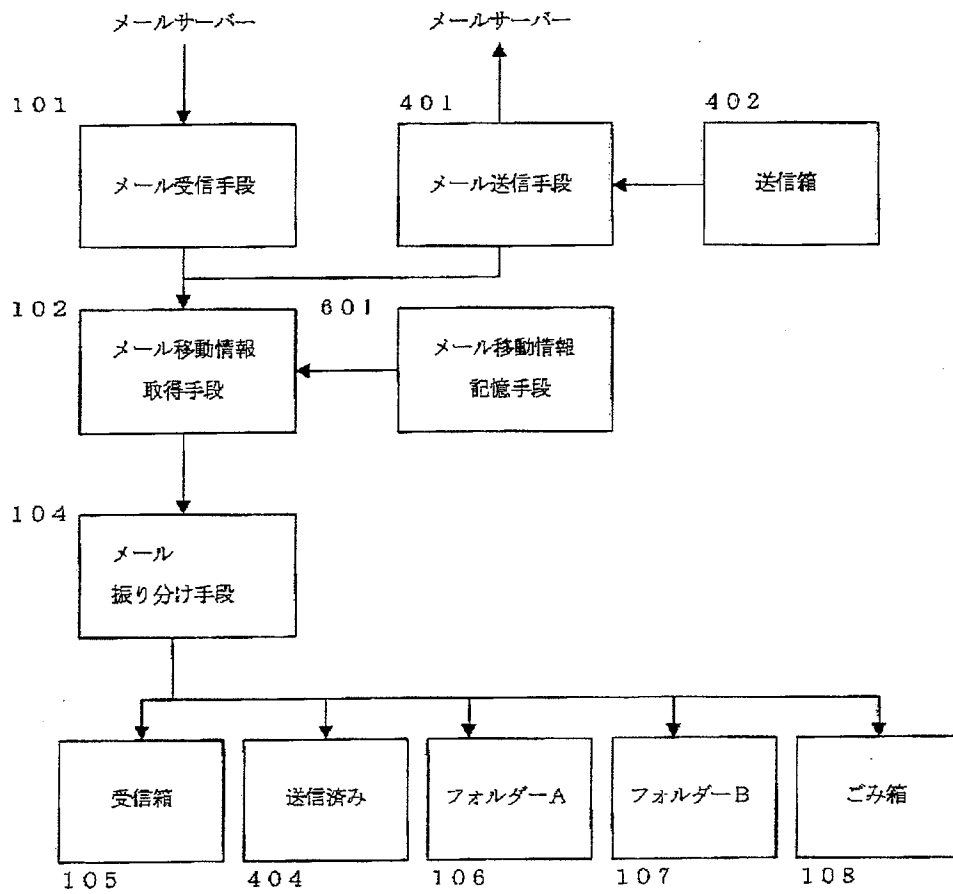
【図4】



【図5】



【図6】



【図7】

